



静岡県内経済情勢

平成29年1月25日

財務省東海財務局

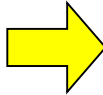
静岡財務事務所

1. 総論

静岡県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば緩やかに回復しつつある。

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、景気の緩やかな回復基調が続いていくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や為替変動の影響に留意する必要がある。また、労働力の不足等による各種供給制約が懸念される。

【総括判断】

前回（28年10月判断）	今回（29年1月判断）	前回比較	総括判断の要点
一部に弱さがみられるものの、総じてみれば緩やかに回復しつつある。	一部に弱さがみられるものの、総じてみれば緩やかに回復しつつある。		生産は一部に動きがみられるものの、弱含んでおり、企業の設備投資は減少に転じている。しかし、雇用情勢が改善するなか、個人消費は緩やかに持ち直している。

（注）29年1月判断は、前回28年10月判断以降、29年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

【各項目の判断】

項目	前回（28年10月判断）	今回（29年1月判断）	前回比較
主要項目	個人消費	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している →
	生産	弱含んでいる	弱含んでいる →
	雇用情勢	改善している	改善している →
その他の項目	住宅建設	新設住宅着工戸数で見ると、前年を上回っている	新設住宅着工戸数で見ると、前年を下回っている ↓
	設備投資	28年度通期は増加見通しとなっている	28年度通期は減少見込みとなっている ↓
	公共事業	前払金保証請負金額で見ると、前年を上回っている	前払金保証請負金額で見ると、前年を上回っている →
	企業収益	28年度通期は減益見通しとなっている	28年度通期は減益見込みとなっている →
	消費者物価	前年比マイナスとなっている	前年比マイナスとなっている —
企業倒産	件数、負債総額ともに前年を上回っている	件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回っている —	

2. 各論

最近の静岡県内経済情勢における主要項目の動向は、以下のとおりとなっている。

【個人消費】— 緩やかに持ち直している —

百貨店・スーパー販売では、百貨店においては、化粧品が堅調であるものの、主力の衣料品などに弱い動きがみられることから、横ばいとなっている。スーパーにおいては、主力の食料品は底堅いものの、衣料品が伸び悩んでいることなどから、緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられる。こうしたことから、全体としては緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられる。

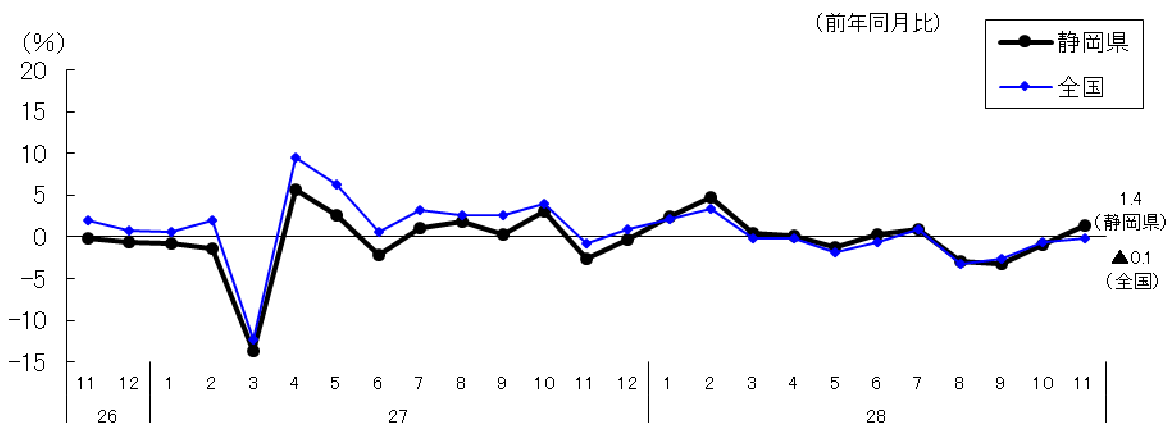
家電販売は、大容量冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどの白物家電が底堅く推移しているほか、薄型テレビに買い替え需要がみられることから、全体としては持ち直している。

乗用車販売は、登録車では、新型車を中心に増加しているほか、軽自動車には下げ止まりがみられることから、全体としては持ち直しつつある。

旅行取扱は、海外は弱含んでいるものの、国内が下支えしていることから、全体としてはおおむね横ばいとなっている。

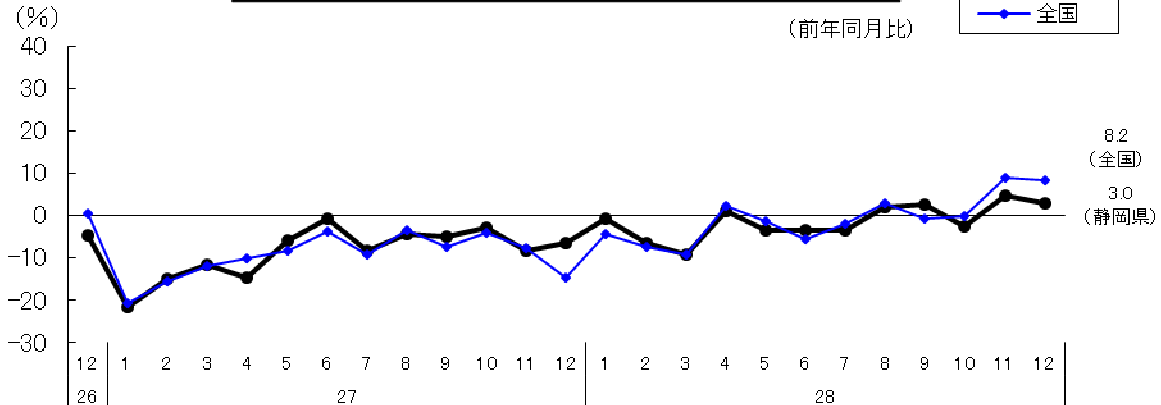
観光地への入込及び宿泊客は、緩やかに増加している。

百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)【静岡県、全国】



(資料)経済産業省

乗用車販売(登録・届出)台数【静岡県、全国】



(資料)日本自動車販売協会連合会ほか

【生産】— 弱含んでいる —

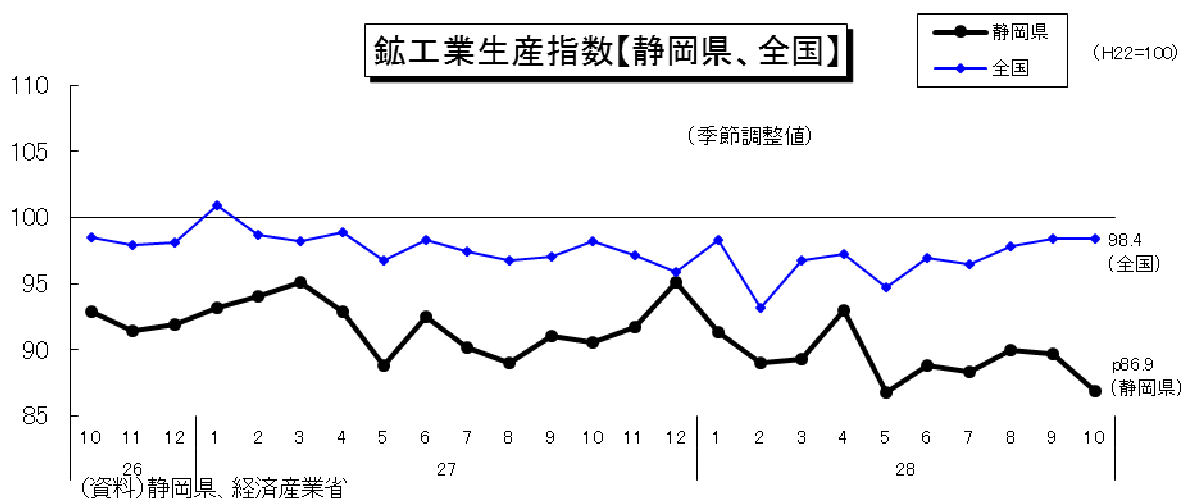
自動車関連は、輸出向けを中心に登録車が増加しつつあるほか、軽自動車の減少は下げ止まりの動きがみられるものの、全体としては依然として減少している。オートバイは、主力の輸出向けで北米を中心に動きがみられる。

電気機械では、エアコンは、秋季のモデルチェンジ効果などにより増加しつつある。冷蔵庫は、大容量冷蔵庫の販売が堅調であることから、増加している。

金属工作機械は、内需が緩やかに増加しつつあるほか、外需は北米向けなどが底堅いものの、中国・アジア向けに弱さがみられることから、全体としては足踏みがみられる。

紙・板紙は、おおむね横ばいで推移している。

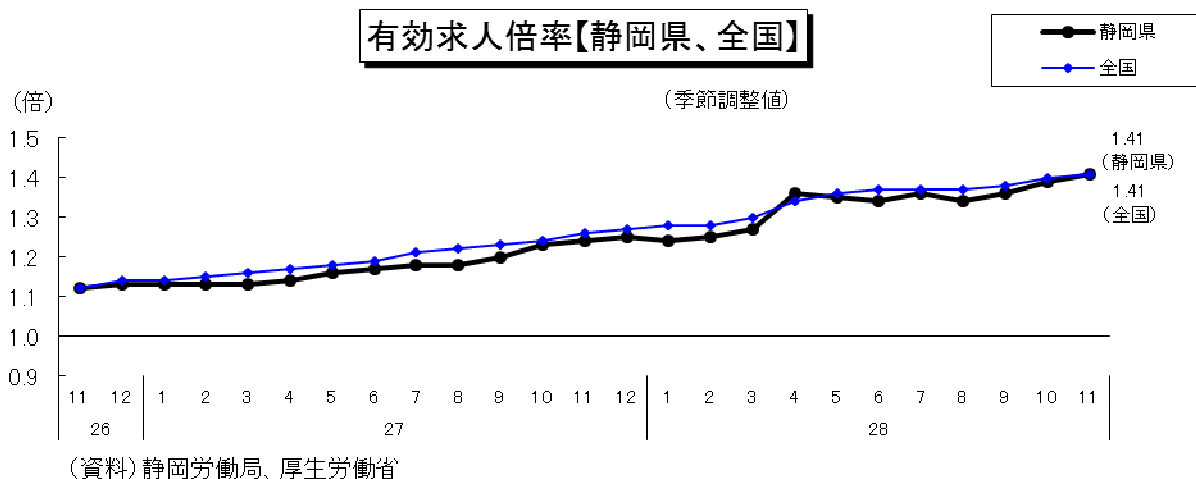
楽器は、持ち直しつつある。



【雇用情勢】— 改善している —

有効求職者数が減少し、有効求人数が増加したことから、有効求人倍率は上昇している。

所定外労働時間は、前年を下回っている。



3. 県内景気に関する地域の声

個人消費

- ・気温の低下により冬物衣料に動きは出たが、前年には届かなかった。メーカーの販促が積極的な化粧品は堅調である。静岡市内で百貨店の改装オープンがあり、通行量の増加により周辺の百貨店への来店客も増加した。(百貨店)
- ・今シーズンは「みかん」の出来が良く、売上に貢献している。また、野菜の相場高も売上高を押し上げた。しかし、消費者には節約志向がみられ、他社との価格競争になっている。(食品スーパー)
- ・新型車は、想定以上の受注があり好調である。納車まで3～4か月待ちとなっており、登録台数に反映されるのはこれからである。(自動車販売)
- ・登録車は、新型車が続けて投入されており、好調に推移している。今後、軽自動車の新型車の発売予定もある。(自動車販売)
- ・冷蔵庫、洗濯機、エアコンといった白物家電は堅調である。地上デジタル放送の開始時に購入したテレビの買い替え需要もあるようだ。(家電販売)

生産

- ・登録車の新型車について、欧州向けを中心に輸出が始まっている。輸出台数は今後も増加する見込みである。輸出の増加により国内工場の稼働率も高まりつつある。(自動車メーカー)
- ・エアコンは、夏季の需要期後の在庫調整が進み、新製品の生産を開始したことなどから生産台数が増加しつつある。出荷台数も伸びている。(電機メーカー)
- ・足元では自動車関係の受注残があることから、生産は増加している。外需依存度の高い工作機械業界に米国新政権の政策や為替市場の動向がどのような影響を与えるのか、まだ不透明である。(工作機械メーカー)
- ・米国新政権の政策による影響は不透明であるが、産業の裾野が広い自動車関係の改善につながれば当社の受注にも好影響である。(金属製品メーカー)

雇用情勢

- ・有効求人倍率は、24年4か月振りに1.4倍を超え、全国と同水準である。特に、運輸業には慢性的な人手不足がみられる。こうしたなか、29年3月に新設される「準中型自動車免許」が雇用情勢に与える影響を注視している。(労働局)
- ・従業員への利益還元方法として、賞与とは別に手当金を支給している。学校の夏休み期間に支給するため、特に子育て世代のモチベーション向上につながっているようだ。(建設)

1. 本調査結果に関する問い合わせは下記へお願いします。

財務省東海財務局 静岡財務事務所 財務課

TEL(054)251-4323 (ダイヤル)

2. 本調査結果の概要は下記ホームページでもご覧頂けます。

ホームページ= <http://tokai.mof.go.jp/sizuoka.htm>